

(1) 2017(平成29)年 1月26日発行

ENGARU ROTARY CLUB, AREA 4, RID2500

遠軽ロータリークラブ

国際ロータリー 第2500地区 第4分區

第2809回例会記録

司会: 上田 稔 副S A A

遠軽ロータリークラブ通常例会

日時: 2017年 1月19日(木)12:30~

場所: ホテルサンシャイン 2F



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-17 RIテーマ

- ★開会点鐘: 黒坂 貴行 会長
- ★国歌: -
- ★Rソング: それでこそロータリー
- ★四つのテスト: -

<職業奉仕月間>

2016~2017

Weekly Report No.26

本日のプログラム

2017年 1月26日(木) 12:30~

ゲスト卓話 遠軽町民生部
住民生活課 課長 小野寺 正彦様

次のプログラム

2017年 2月 2日(木) 12:30~

委員会担当プログラム
国際奉仕委員会

黒坂貴行 会長 ターゲット: 地域のため、行動しよう!

会長報告 黒坂 貴行 会長①

本日は、委員会担当プログラムで、職業奉仕委員会が担当です。よろしくお願いいたします。

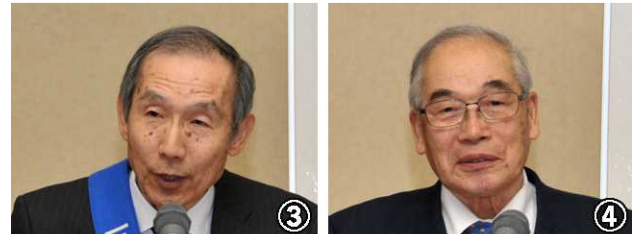
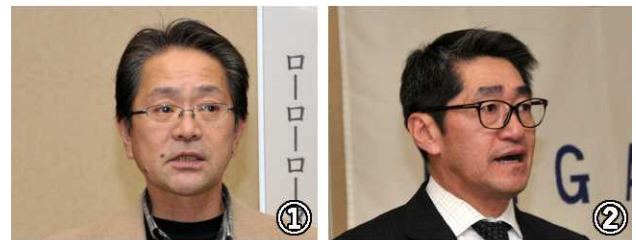
以前の報告で、クラブ運営に大幅な柔軟性について話しましたが、今月の「ロータリーの友」の「友愛の広場」に、その柔軟性に対する意見記事が載ってました。2016年8月号に書かれていた「クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にある」という記事に対して、「会員増強とクラブ拡大を指しているのではないか」、という意見です。ポール・ハリスの言葉がロータリーの原点であり、今の国際ロータリーの決定は、金と人数集めに基準を置いているように見える、とも書いてありました。

また、同じ記事の中で、「クラブの健全さは出席率だけで決まるものではないと認識しました。」に関しては、ロータリーの三大義務はどこに行ってしまったのかと嘆いています。最後に、ロータリーよ、どこへ行く、で終わっています。

1月号を読んでいくと、人類に奉仕するロータリー、「第45回ロータリー研究会レポート」という記事が横書きであり、最初の見出しが、「今、ロータリーはどこへ行こうとしているのか」と書いてありました。RI理事も、「今、ロータリアンたちが特に関心を持っていることの一つが、規定審議会の結果、ロータリーがどのような方向に向かっていこうとしているのか、ということ。」と述べたそうです。クラブ運営、会員資格、出席要件などで、パネリストの意見が載っています。まだ、読んでいない方は、是非、読んで下さい。

幹事報告 遠藤 利秀 幹事②

1. 遠軽青年会議所より新年会の礼状
2. 緊急時連絡表を配布しました。個人情報となりますので取扱いには注意してください。



委員会報告

◇佐久間 英昭 親睦活動委員長③

「親睦マージャン大会及び懇親会」について。

2月16日(木)14時からマージャン大会、18時より夜間例会・懇親会／表彰式となります。

場所は麻雀クラブ富士、会費は2,000円。締め切りは2月9日。点数は数えられなくても参加できます。多くの会員の参加をお願いします。

本日のプログラム

職業奉仕月間について

東海林 勉 職業奉仕委員長

昨年度から「職業奉仕月間」は1月に変更になりました。ロータリーの五大奉仕部門の第二部門である職業奉仕は他の全ての奉仕部門とはひと味違ったロータリーの組織の質の高さを裏付けるものです。【2面へ】

【名前後の○数字は写真の番号】



【1面より】

本日の例会プログラムの準備の最中に、「ロータリーの友」今月号に掲載された「『職業奉仕』はロータリーの根幹か?」という記事を目の当たりにし、いささか戸惑いを禁じ得ませんでした。世界の流れに日本が乗り遅れないように「職業奉仕」の捉え方を変えるべき、と。また、「現在の日本のロータリーとRIとの間には残念ながら不幸な現状があると考えています」とも。

今年度の地区協議会で「2016規定審議会結果検討会議」の報告をした足立パストガバナー(釧路北RC)も「日本のRCと世界のRCの考え方がものすごく大きくかけ離れている」と懸念を表明していました。この件については機会を改めます。

さて、「職業奉仕月間について」、「リソース」と地区協議会=第5分科会=職業奉仕部門のデータを元にパワーポイントを進めていきます。

2016年規定審議会で、職業奉仕の定義に以下の部分が追加されました。

－そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに伝えること。

さて、職業奉仕とは；

- －自分の職業や仕事上のネットワークをロータリークラブの活動と結びつける
- －地域社会の問題解決のために専門能力を生かし、人びとが新しい職業の機会や関心を見つけるのを助ける
- －仕事や生活においてロータリーの中核的価値観である「高潔性」を奨励し、実践する

ロータリーは、高潔性と高い倫理基準を強調し、これらの実践に役立つ規範となるのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」。

以下、スライドで説明(例会資料参照)：

“職業奉仕という言葉の意味を考えてみよう”、
“職業奉仕という言葉はロータリー独自の言葉”、

“1) 職業上のサービスを行う”、“2) 職業を通じて社会に貢献する”、“職業奉仕はロータリアンだけのもの?”、“ロータリークラブ～その理論と実践と批判～小堀憲助著-重訂II版”、“ロータリーの目的(綱領)を理解する”、“ロータリーの標語を理解する”、“四つのテストの覚え方と原文”。

最後に、「四つのテスト」のエピソード二話を紹介します。一つは2015年5月16日、第4分区のIMが滝上RCのホストで開催され、その「友情の宴」で同クラブのチャーターメンバーである加藤四郎名誉会員が「ロータリアンの友情と四つのテスト筋で頑張ってきたので、92歳まで生かさせていただいた」と話されていました。

二つ目は、2014年6月15日、帯広東RC創立30周年記念式典で功績賞を受賞したチャーターメンバーであり初代会長の福岡正雄会員の「徹底して四つのテストを考えて参りましたので、私の人生を変えていただいた。92歳になりましたがまだまだ頑張っていこうと思います」という挨拶。

両方とも「四つのテスト」と「92歳」ということで印象に残り、ガバナー月信に寄稿、2015年7月1日発行Vol.13号に掲載されました。

その時のビデオとムービー写真をご覧ください。まとめたいと思います。職業奉仕、それは；職業を通じて世のため人のために奉仕すること。

ロータリーにおいて、職業とは人生そのものであり、職業の倫理は人生の倫理である。

職業奉仕はロータリーの原点である。

■「四つのテスト」は和訳こそ簡潔明瞭ですが、原文には多くの意味がこめられていて、その原版は聖書からきていと云うことです。

ロータリーの文献は英語なので、直訳できない文言などを和訳する際、かなり苦勞したようです。

今年もまもなく国際協議会が開かれますが、最近では会員拡大とロータリー財団強化の講演が多くなり、職業奉仕の講演が無くなって来ました。

だからこそ、クラブでは職業奉仕活動を活発にし、ロータリアンは職業奉仕とロータリーについて理解を深めることが重要だと思います。

ニコニコ BOX

佐久間 英昭 親睦活動委員長③

本吉春雄会員 結婚記念日 5,000円
2016-17年度 合計308,400円

☆閉会点鐘：黒坂 貴行 会長
☆今月会報担当：山田 莊一 会員

2016-17_26th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
竹内 徳治 出席委員長④	1月12日	38	33	26		78.8%	
	1月19日	38	33	26		78.8%	

編集・発行：メディア委員会	
委員長：須藤順一	副委員長：高井一博
委員：東海林勉	山田莊一 棚橋 忠
本吉春雄	吉川 紘 乾 淳

2016-2017年度 国際ロータリー
会長：ジョン F・ジャーム
第2500地区ガバナー 駒形曙美(北見RC)
第4分区ガバナー補佐 飯田弘明(紋別RC)



遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：黒坂貴行 副会長：中川満之
会長エレクト：成田弘明 幹事：遠藤利秀
会計：島田光隆 SAA：日野邦彦
直前会長：木村一則 事務局員：高野郁子
◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com
【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)

Rotary

